

機関番号：34414

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：平成20年度～平成23年度

課題番号：20320067

研究課題名（和文） 智積院聖教における典籍・文書の基礎的研究

研究課題名（英文） The fundamental study of a copied book of old time possessed by Chishaku-in Temple

## 研究代表者

宇都宮 啓吾 (UTUNOMIYA KEIGO)

大阪大谷大学・文学部・教授

研究者番号：40257902

研究成果の概要（和文）：真言宗智山派総本山智積院に所蔵される典籍の調査を行ない、その詳細な目録を作成した。また、新たに2000点以上にも及ぶ典籍の存在をも確認した。そして、その中に、従来は秀吉の侵攻によって焼亡したために殆ど存在が確認されていなかった根来寺関係の典籍を発見し、更に、中世律宗の重要拠点となった家原寺関係の典籍を発見した。

研究成果の概要（英文）：I made the list of a copied book of old time possessed by Chishaku-in Temple. And I discovered a copied book of old time related to Negoro-ji Temple (根来寺) and Ebara-ji Temple (家原寺) from that.

The result (a catalog) of this study is going to be published several years later by the Chishaku-in Temple authorities.

## 交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	6,100,000	1,830,000	7,930,000
2009年度	4,600,000	1,380,000	5,980,000
2010年度	6,300,000	1,890,000	8,190,000
年度			
年度			
総計	17,000,000	5,100,000	22,100,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：日本語史

キーワード：智積院・根来寺・訓点資料・聖教・家原寺

## 1. 研究開始当初の背景

根来寺聖教は、キリシタン宣教師によっても根来寺の滅亡の様が語られるようにその存在自体が消滅したと認識されて来たが、本申請に至る予備調査において真言宗智山派総本山智積院聖教にそれらが大量に存することが確認された。そのこと自体、社会に対しても大きなインパクトを与えるものと思われるが、その存在のみならず、所蔵される典籍・文書類が学術的にも、南都・京都・高野山・関東とは異なる別の教学圏の聖教群であるために伝存系統も大きく異なり、本聖教の独自伝本や新発見資料が大量に発見され、学術的価

値の非常に高いことが確認された。

## 2. 研究の目的

真言宗智山派総本山智積院聖教を対象とした悉皆調査とデータ公開、また、その成果を踏まえた諸宗交流の実態解明の為に聖教データベース・血脈データベースのシステム構築の準備、日本のみならず、国際的にも関心が高まりつつある海外流出聖教の解明にまで寄与するユビキタス環境（いつ、どこでも聖教情報を入手可能な環境）の整備の方策を検討する。

## 3. 研究の方法

智積院内（智山書庫）において整理・所在確認と詳細な書誌データの収集を目的とした調査の作成を行ない、合わせて重点聖教の洗い出しを行ない、必要に応じてデジタルカメラでの撮影を行ない、パーソナルコンピュータに入力して、データベース化を図った。また、重点聖教については、フィルムカメラによる書影収集も行なった。その他、智積院新文庫聖教の解明に必要と考えられる関連聖教群の調査も行ない、その公開も進めた。

#### 4. 研究成果

悉皆調査自体については、六十函のうち、八割の四十八函の完了、入力・目録化は七割の四十二函となったが、新出二〇〇〇点の所在確認作業については全てを完了し、本科研の三年間における最大の目標とする新文庫聖教の概要と全体像の把握については成し得た。

その結果として、以下のような成果・社会的意義をも得ることとなった。まず、代表者である宇都宮は智山年表編纂協力委員（智山派御当局による智山史解明の為の年表作成事業の協力員）に就任、また智山教学大会においては聖教調査に基づく招聘講演を行なうに至り（その成果が智積院聖教の概要として本報告書に掲載した）、また、本科研に端を発した海住山寺調査が智山勸学会奨励賞を受け（分担者・苫米地誠一が代表として受賞）、更には、分担者・高橋秀城が本科研調査の成果を始めとする業績に基づいて平成年度日本密教学会賞を受賞するなど、本科研の成果は此界において評価され、また、稿者を代表とする調査団としても評価と信頼を得たことによって、聖教調査に対する全面的な支援を受けるとともに、今後の継続的な研究協力体制を得るに至っている。

そのため、今後とも問題なく継続調査が可能な状態となっている

また、本科研の中間報告書（『籠神社所蔵史料—国宝『海部氏系図』と神道関係書—』平・3）では、聖教調査や本邦典籍史の問題としても注目される血脈・系図類の分析を行なうための、その参考として、本邦最古の類に位置する国宝『海部氏系図』の調査を行ない、併せて、丹後国における真言僧の活動を分析するといった目的から、

籠神社史料の調査を行なうことが叶った。特に、国宝『海部氏系図』については、巻首から巻末へと巻くという原装の形態の解明を含む詳細な書誌的調査と此報告書が初となるカラーによる記述部分の拡大写真の公開を行ない、今後の研究に資する成果を挙げることができた。

また、籠神社史料の主要な典籍の調査・写真公開の成果も挙げることができた。

#### 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 54 件）

- ①宇都宮啓吾「訓点資料とその料具」（『訓点語と訓点資料』第 126 輯 1 頁～18 頁 二〇一一 単著 査読有）
- ②宇都宮啓吾「智積院における聖教の継承と集積」（『智山学報』60 1 頁～41 頁 二〇一一 単著 査読無）
- ③高橋秀城「仏教と文学をつなぐもの」（『六大新報』第 4236 号 2 頁～3 頁 二〇一一・一 単著 査読無）
- ④高橋秀城「神宮文庫蔵（石川雅望著）『成田紀行』翻刻と釈文—荒木田弘孚 写『成田紀行』の底本—」（『成田山仏教研究所紀要』第 34 号 129 頁～165 頁 二〇一一・二 単著 査読無）
- ⑤山本真吾「平家物語諸本と中世語—延慶本の言語年代をめぐって」（神戸大学 文学部国語国文学会『国文論叢』43、1 頁～11 頁 二〇一〇 単著 査読無）
- ⑥苫米地誠一「空海撰述の「祖典化」をめぐって—空海第三地菩薩説と『御遺告』の成立—」（中世文学と隣接諸学 2 『中世文学と寺院資料・聖教』 竹林舎 40 頁～66 頁 二〇一〇 単著 査読有）
- ⑦山本秀人「改編本類聚名義抄における注音方式の再検討—傍仮名音注・声点の朱墨について—」（『古典語研究の焦点』（武蔵野書院）427 頁～452 頁 二〇一〇 査読無）
- ⑧山本真吾「「表白」という言語行為と文学表現」（中世文学と隣接科学 2 『中世文学と寺院資料・聖教』 竹林舎 237 頁～250 頁 二〇一〇 単著 査読無）
- ⑨山本真吾「翻刻・翻字の限界—日本語史研究の立場から—」（岩波書店『文学』11—5 144 頁～158 頁 二〇一〇 単著 査読有）
- ⑩山本真吾「東大寺図書館蔵七諭三平等十无上義について」（『古典語研究の焦点』武蔵野書院 453 頁～478 頁 二〇一〇 単著 査読無）
- ⑪山本真吾「講式の文体に関する一考察—〈漢〉の語彙・語法を中心に—」（『国語語彙史の研究』29 133 頁～145 頁 二〇一〇 単著 査読有）
- ⑫宇都宮啓吾「聖教書誌情報全文検索システムのスタンドアロン化の試み」（『情報知識学会誌』20—2 189 頁～194 頁 二〇一〇（情報知識学会） 共著 査読有）
- ⑬宇都宮啓吾「近江の聖教とその伝来」（『近江の文化と伝統』 二〇一〇 551 頁～563 頁 単著 査読無）
- ⑭宇都宮啓吾「籠神社蔵『海部氏系図』の書誌的事項について」（『籠神社所蔵史料—国宝『海部氏系図』と神道関係書—』（日本

- 学術振興会科学研究費基盤研究(B)報告書  
3頁～9頁 二〇一〇 単著 査読無)
- ⑮ 宇都宮啓吾 「『更級日記』「みつさかの山」考」(『大阪大谷国文』40 45頁～51頁 二〇一〇 単著 査読無)
- ⑯ 宇都宮啓吾 「紙背聖教の訓点について—訓点資料研究の一視点—」(『古典語研究の焦点—武蔵野書院創立90周年記念論集』545頁～568頁 二〇一〇 単著 査読無)
- ⑰ 羽田聡 「中世史料研究と唐物」(『東アジアをめぐる金属工芸 中世・国際 交流の新視点』 勉誠出版 192頁～207頁 二〇一〇 単著 査読無)
- ⑱ 高橋秀城 「薬師寺蔵『醍醐寺真俗雑談記』翻刻」(『成田山仏教研究所紀要』 第33号 245頁～268頁 二〇一〇・二 単著 査読無)
- ⑲ 高橋秀城 「僧と財とのあわい—無住の著作を手がかりとして—」(『蓮花寺仏教研究所紀要』 第3号 1頁～14頁 二〇一〇・二 単著 査読 有)
- ⑳ 高橋秀城 「薬師寺蔵『醍醐寺真俗雑談記』をめぐっての一考察—「雑談」から「口決」へ—」(『密教学研究』 第42号 119頁～134頁 二〇一〇・三 (日本密教学会) 単著 査読 有)
- ㉑ 高橋秀城 「童子の学問」(『白毫』 第43号 2頁～3頁 二〇一〇・四 単著 査読無)
- ㉒ 高橋秀城 「真言僧の修学と文学—口決の生成と継承をめぐって—」(阿部泰 郎編『中世文学と寺院資料・聖教』(中世文学と隣接諸学2、竹林 舎) 594頁～609頁 二〇一〇・一〇 単著 査読 有)
- ㉓ 高橋秀城 「法語と文学」(『国文学 解釈と鑑賞』(ぎょうせい) 「特集:中世 文学研究の現在」 第75巻12号 145頁～153頁 二〇一〇・一二 単著 査読無)
- ㉔ 村川猛彦、他「Graphical Expression of SQL Statements Using Clamshell Diagram」(『IEICE TRANSACTIONS on Information and Systems』 E93-D-4 713頁～720頁 二〇一〇・四 共著 査読 有)
- ㉕ 村川猛彦、他「Transcription Support System using Subversion」(『Proceedings of 6th International Conference on Web Information Systems and Technologies』 2 150頁～155頁 二〇一〇・四 共著 査読 有)
- ㉖ 村川猛彦、宇都宮啓吾、他「聖教書誌情報全文検索システムのスタンドアロン化の試み」(『情報知識学会誌』 20-2 189頁～194頁 二〇一〇・五 (情報知識学会) 共著 査読 有)
- ㉗ 村川猛彦、他「Automatic conversion of SQL statement into clamshell diagram」(『Proceedings of the 9th Joint Conference on Knowledge-Based Software Engineering』 100頁～101頁 二〇一〇・八 共著 査読 有)
- ㉘ 村川猛彦、宇都宮啓吾、他「古写経翻刻のための採用支援機能の構築」(『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集』 2010-15 229頁～304頁 二〇一〇・十二 (情報処理学会) 共著 査読 有)
- ㉙ 宇都宮啓吾 「智積院新文庫蔵『管見抄』(断簡)について」(『白居易研究』 (勉誠社) 246頁～276頁 二〇〇九 単著 査読 有)
- ㉚ 宇都宮啓吾 「宝幢院点の成立に関する一考察—源信・寂照・延殷・皇慶を巡って—」(『訓点語と訓点資料』 第123輯 59頁～70頁 二〇〇九 単著 査読 有)
- ㉛ 宇都宮啓吾 「中世智積院の成立に関する一考察—智積院新文庫蔵『通解抄』を手懸かりとして—」(『智山学報』 58輯 47頁～63頁 二〇〇九 単著 査読 無)
- ㉜ 苔米地誠一 「興教大師覚鑿」(『真言密教を探る』 大正大学出版会 128頁～158頁 二〇〇九 単著 査読 無)
- ㉝ 山本真吾 「9世紀の漢字片仮名交じり文におけるヲコト点の使用について (韓文)」(『口訣研究』 23 263頁～284頁 二〇〇九 単著)
- ㉞ 羽田聡 「伝後伏見天皇筆「あがた切」—進子内親王と『風雅和歌集』—」(『学叢』 31号 京都国立博物館 57頁 77頁 二〇〇九 単著 査読 無)
- ㉟ 宇都宮啓吾 「歴史学研究と訓点資料研究との接点」(『日本歴史』 728号 17頁～22頁 二〇〇八 単著 査読 無)
- ㊱ 高橋秀城 「成田山仏教図書館蔵『成田紀行』(「蛙歩」) 解題並びに釈文」(『成田山仏教研究所紀要』 第32号 219頁～239頁 二〇〇九・二 単著 査読 無)
- ㊲ 高橋秀城 「智積院新文庫蔵『根來說草集』をめぐって—『可笑記』と『宝物集』、唱導のための抜書本の可能性—」(福田 晃・中前正志編『唱 導文学研究』(三弥井書店) 第7集 161頁～181頁 二〇〇九・五 単著 査読 無)
- ㊳ 高橋秀城 「(原稿執筆) 智山年表編纂室編『智山年表[近現代篇]』」(真言宗智 山派宗務庁) 二〇〇九・一二 共著 査読 無)
- ㊴ 高橋秀城 「(項目執筆) 志村有弘・奥山芳広編『社寺縁起伝説辞典』」(戎光祥 出版) 二〇〇九・一二 共著 査読 無)
- ㊵ 村川猛彦、他「Subversionを用いた仏典テキスト校訂支援システムの評価」(『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集』 2009-16 61頁～66頁 二〇〇九・十二 (情報処理学会) 共著 査読 有)
- ㊶ 宇都宮啓吾 「古典籍書誌情報におけるキーワード抽出手法」(『情報知識学会誌』 18-

- 2 87頁～92頁 二〇〇八 (情報知識学会) 共著 査読有)
- ④②村川猛彦、宇都宮啓吾、他「聖教書誌情報全文検索システムの構築」(『情報処理学会論文誌データベース』1—3 96頁～107頁 二〇〇八 (情報処理学会) 共著 査読有)
- ④③苜米地誠一「平安初期の六観音像と『摩訶止観』一六観音信仰の成立をめぐる(1)一」(『多田孝正博士古稀記念論集 仏教と文化』山喜房仏書林 655頁～675頁 二〇〇八 単著 査読無)
- ④④山本秀人「高野山大学蔵「大般若経音義」(室町後期写本)について」(『高知大國文』第39号 1頁-33頁 二〇〇八 査読無)
- ④⑤赤尾栄慶「七寺一切経にみる経軸の意匠の相違について」(『学術フロンティア「奈良平安古写経研究拠点の形成」ニュースレター いとくら』3号 国際仏教学大学院大学 3頁～4頁 二〇〇八 単著 査読無)
- ④⑥山本真吾「変体漢文解読の方法と実際—変体漢文訓点資料の諸相—(韓文)」(『韓国文化』44 269頁～287頁 二〇〇八 単著)
- ④⑦羽田聡「法華経要文和歌懐紙の伝来と復元—立命館本を中心に—」(『アート・リサーチ』8号 立命館大学アート・リサーチセンター 58頁～80頁 二〇〇八 単著 査読無)
- ④⑧羽田聡「京都国立博物館所蔵「花園天皇宸翰消息」について」(『学叢』30号 京都国立博物館 21頁～43頁 二〇〇八 単著 査読無)
- ④⑨羽田聡「紙背に経典の書写された和歌懐紙」(『年報三田中世史研究』15号 三田中世史研究会 38頁～71頁 二〇〇八 単著 査読無)
- ④⑩高橋秀城「(新刊紹介)「末木文美士『鎌倉仏教展開論』」(『国文学 解釈と鑑賞』(至文堂)「特集・絵画を読み解く 文学との邂逅」73巻12号 166頁 二〇〇八・一二 単著 査読無)
- ④⑪村川猛彦、宇都宮啓吾、他「古典籍書誌情報におけるキーワード抽出手法」(『情報知識学会誌』18—2 87頁～92頁 二〇〇八・五 (情報知識学会) 共著 査読有)
- ④⑫村川猛彦、他「Formulation of clamshell diagram and its application to source code reading」(『Proceedings of the 8th Joint Conference on Knowledge-Based Software Engineering』474頁～483頁 二〇〇八・八 共著 査読有)
- ④⑬村川猛彦、宇都宮啓吾、他「聖教書誌情報全文検索システムの構築」(『情報処理学会論文誌データベース』1—3 96頁～107頁 二〇〇八・十二 (情報処理学会) 共著 査読有)
- ④⑭村川猛彦、他「Subversionを用いた仏典テキスト校訂支援システム」(『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集』2008—15 61頁～66頁 二〇〇八・十二 (情報処理学会) 共著 査読有)
- [学会発表] (計 23 件)
- ①宇都宮啓吾「智積院における聖教の継承と集積」(智山勸学会 二〇一〇・五 講演)
- ②山本秀人「改編本類聚名義抄における「東人云」について」(国語語彙史研究会 武庫川女子大学 二〇一〇・四 学会発表)
- ③山本秀人「三教指帰覚明注の成立過程追考」(第五十九回高知大学国語国文学会研究発表会 二〇一〇・一一 学会発表)
- ④高橋秀城「古典文学と民間信仰」(成田山仏教研究所主催 第25回成田山仏教文化講座「仏教と民間信仰」【第8講】(成田山大本堂第一講堂) 二〇一〇・四 講演)
- ⑤村川猛彦、他「Transcription Support System using Subversion」(6th International Conference on Web Information Systems and Technologies 二〇一〇・四 学会発表)
- ⑥村川猛彦「Automatic conversion of SQL statement into clamshell diagram」(9th Joint Conference on Knowledge-Based Software Engineering 二〇一〇・八 学会発表)
- ⑦宇都宮啓吾「智積院新文庫蔵『管見抄』(断簡)を巡って」(平成21年度智山勸学会 二〇〇九・五 学会発表)
- ⑧宇都宮啓吾「訓点資料研究の一視点—紙背聖教の訓点を巡って—」(国際ワークショップ「漢字情報と漢文訓読」(北海道大学) 二〇〇九・八 学会発表)
- ⑨宇都宮啓吾「紙背聖教と訓点—書写意図と対外交流史を巡る問題—」(南都文化研究会 二〇〇九・一〇 学会発表)
- ⑩宇都宮啓吾「親鸞聖人の訓点—従来の研究から角筆点まで—」(大谷大学聖教編纂室研究会 二〇〇九・十二 学会発表)
- ⑪宇都宮啓吾「中世智積院の成立に関する一考察—智積院新文庫蔵『通解抄』を手懸かりとして—」(平成20年度智山勸学会 二〇〇八・五 学会発表)
- ⑫山本真吾「9世紀の漢字片仮名交じり文におけるヲコト点の使用について」(口訣学会国際学術大会 韓国技術教育大学校・文理閣 二〇〇九・二 口頭発表)
- ⑬山本真吾「古文書の表記—漢字・平仮名・片仮名—」(日本語教育と日本語研究中国西南交通大学 二〇〇九・九 口頭発表)
- ⑭高橋秀城「薬師寺蔵『醍醐寺真俗雑談記』をめぐる」(智山勸学会第53回 教学大会(総本山智積院) 二〇〇九・五 学会発表)

- ⑮高橋秀城「薬師寺蔵『醍醐寺真俗雑談記』  
についての一考察」(日本密教学 会第 42  
回学術大会(大本山護国寺 真言宗豊山派  
宗務所) 二〇〇 九・一〇 学会発表)
- ⑯高橋秀城「真言僧の修学と文学」(二〇〇  
九クリスマス研究集会(第 10 回)「中世宗  
教テキスト研究の可能性」(名古屋大学)  
二〇〇九・一二 学 会発表)
- ⑰宇都宮啓吾「撰関期の訓点資料」(平成 20  
年度仏教美術研究上野記念財団助成研究  
会 二〇〇八・七 学会発表)
- ⑱宇都宮啓吾「『春記』の紙背に記された読  
み方の作法」(大谷大学・二〇〇八年度博  
物館 秋季企画展関連シンポジウム 二  
〇〇八・九 学会発表)
- ⑲山本真吾「敬語の百年史」(駒澤大学「百  
年ごとの日本語」 二〇〇八・六 講演)
- ⑳山本真吾「源氏物語—いにしえの声を聞く  
—」(白百合女子大学図書館企画「古典に  
学び、今を生きる」 二〇〇八・六 講演)
- ㉑山本真吾「12 世紀の日本語における仏教漢  
語の生態」(第 13 回全国近代漢語学術討論  
会 中国社会科学院語言研究所・浙江財經  
学院 二〇〇八・九 口頭発表)
- ㉒高橋秀城「密教と古典文学」(成田山仏教  
研究所主催 第 23 回成田山仏教文 化講  
座「仏教と文学」【第 10 講】(成田山大本  
堂第一講堂) 二〇〇 八・六 講演)
- ㉓村川猛彦「Formulation of clamshell  
diagram and its application to source  
code reading」(8th Joint Conference on  
Knowledge-Based Software Engineering  
二〇〇八・八 学会発表)

[図書] (計 9 件)

- ①宇都宮啓吾『籠神社所蔵史料—国宝『海部  
氏系図』と神道関係書—』(二〇一〇・三 日  
本学術振興会科学研究費基盤研究(B)報告書  
編著)
- ②山本真吾『日本語史概説』(朝倉書店、二  
〇一〇・四 共著)
- ③赤尾栄慶『建仁寺両足院に所蔵される五山  
文学関係典籍類の調査研究 建仁寺両足院  
聖教目録Ⅱ (第 61 函—第 120 函)』平成  
19 - 22 年度科学研究費補助金 基盤研究  
(B) 研究成果中間報告書(研究代表者 赤  
尾栄慶 二〇一〇)
- ④赤尾栄慶『建仁寺両足院に所蔵される五山  
文学関係典籍類の調査研究 建仁寺両足院  
聖教目録Ⅰ (第 1 函—第 60 函)』平成 19  
- 22 年度科学研究費補助金 基盤研究 (B)  
研究成果中間報告書(研究代表者 赤尾栄  
慶) 二〇〇九
- ⑤山本真吾『尊経閣善本影印集成 新猿楽  
記』(八木書店、二〇一〇・六 共 著)

- ⑥山本真吾『石山寺資料叢書 文学篇第三』  
(法蔵館、二〇〇八・六 共著)
- ⑦山本真吾『尊経閣善本影印集成 江談抄』  
(八木書店、二〇〇八・八 共著)
- ⑧山本真吾『図説日本の辞書』(おうふう、  
二〇〇八・一〇 共著)
- ⑨苦米地誠一『平安期真言密教の研究』(第  
一部「初機真言密教教学の形成」 一一二〇  
頁/第二部「平安期 の真言密教と密教浄土  
教」一二八〇頁 ノンブル社 二〇〇八・三)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況 (計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

[その他]

ホームページ等

<http://www.orcaland.gr.jp/~utsunomiya/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

宇都宮啓吾 (UTSUNOMIYA KEIGO)  
大阪大谷大学・文学部・教授  
研究者番号：4 0 2 5 7 9 0 2

(2) 研究分担者

山本秀人 (YAMAMOTO HIDETO)  
高知大学・教育研究部人文社会科学系・  
教授  
研究者番号：3 0 2 0 0 8 3 5

山本真吾 (YAMAMOTO SHINGO)  
白百合女子大学・文学部・教授  
研究者番号：7 0 2 1 0 5 3 1

苔米地誠一(TOMABECHI SEIICHI)  
大正大学・仏教学部・准教授  
研究者番号：00340456

赤尾栄慶(AKAO EIKEI)  
京都国立博物館・学芸課・上席研究員  
研究者番号：20175764

羽田聡(HADA SATOSHI)  
京都国立博物館・学芸課企画室・研究員  
研究者番号：30342968

高橋秀城(TAKAHASHI SHUUJOU)  
大東文化大学・文学部・非常勤講師  
研究者番号：20459259

(3) 連携研究者  
( )

研究者番号：